

農林水産政策研究所の概要

1. 農林水産政策研究所は、農林水産省の所掌事務に関する政策に関する総合的な調査及び研究を行う研究機関として、本年4月に、農業総合研究所を改組して設立された。

我が国の食料、農業及び農村をめぐる状況が大きく変化する中で、21世紀においても日本の農林水産業と農山漁村が発展し続けていくため、農林水産省では、平成11年7月の「食料・農業・農村基本法」の制定をはじめ、新しい時代に対応した農林水産政策の展開に取り組んでいる。農林水産政策研究所は、このような新たな政策の展開方向に即し、政策の企画・立案に資する充実した政策研究を推進することを目的としている。

2. 当研究所では、本年6月、中長期的展望のもと、農業分野を中心に農林水産政策研究の推進方向を示す「農林水産政策研究所研究基本計画」を策定した。同計画に沿って、各種プロジェクト研究及び経常研究の課題を設定し、研究を推進している。

「農林水産政策研究所基本計画」による研究課題

評価・食料政策に関する研究

- 1 農林水産政策の評価に関する研究
- 2 食料・農業・農村政策に関連する環境の評価に関する研究
- 3 食料の国際又は国内需給の変動要因の解明と動向予測に関する研究
- 4 食料消費動向の解明及び食料消費政策に関する研究
- 5 食料の生産から消費に至る供給システムの効率化及び安定化政策に関する研究

地域振興政策に関する研究

- 1 農林水産業の経営構造及び農林水産業経営の発展のための政策に関する研究
- 2 農山漁村の社会安定化及び農林漁業者の福祉増進のための政策に関する研究
- 3 農山漁村及び中山間地域等の経済の活性化政策に関する研究
- 4 農山漁村及び中山間地域等の資源の保全及び利用高度化のための政策に関する研究

国際政策に関する研究

- 1 食料・農業・農村問題をめぐる国際関係の動向及び国際調整政策に関する研究
- 2 ヨーロッパ地域、アメリカ・オセアニア地域及びアジア・アフリカ地域それぞれについての食料・農業・農村の動向及び政策の展開方向に関する研究